

文書分類番号	00	09	03	002	永年	起案	令和6年3月26日	決裁	令和	年	月	日
議長	副議長	局長	副主幹	係長	主査	担当	文書取扱主任					

## 第 8 回 厚 生 常 任 委 員 会 会 議 録

開催年月日	令和6年2月2日（金曜日）	開会9時53分	閉会10時55分
開催場所	第二・第三委員会室		
出席委員	木下、好川、寄谷、高橋、福井、藤田、堀、田村、 荒木、関藤	事務局	深村事務局長 壽崎副主幹
欠席委員	なし		小島主事
説明員	別紙のとおり		
議件	別紙のとおり		
議 事 の 概 要	1 所管からの報告事項について		
	次の事項について所管から説明を受け、質疑を行い、報告済みとした。		
	(1) 令和5年度一般会計補正予算について（住民税均等割のみ課税世帯への給付・低所得者の子育て世帯への加算）		
	(2) 専決処分について（車両損傷事故に伴う損害賠償額の決定）		
	(3) 第3次健康たきかわ21アクションプラン（案）について		
	(4) 第9期滝川市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（案）について		
	(5) 第7期滝川市障がい福祉計画（案）について		
	2 その他について		
	なし		
	3 次回委員会の日程について		
	2月19日（月）午前11時00分から開催することに決定した。		
	上記記載のとおり相違ない。 厚生常任委員長 木下 八重子 ㊟		

## 第8回 厚生常任委員会

R6.2.2 (金)10:00～  
第二・第三委員会室

開 会 9:53

- 委員長 ただいまより第8回厚生常任委員会を開催いたします。
- 委員長 **委員動静報告**  
ただいまの出席委員数は10名であります。議長及び副議長に出席をしていただいております。荻野議員、山口議員、安樂議員に傍聴の許可をしております。報道は、株式会社北海道新聞社に取材の許可をしております。
- 委員長 **1 所管からの報告事項について**  
1、所管からの報告事項について、◎印につきましては議案関連でございますので、ご留意願います。  
それでは、(1)、令和5年度一般会計補正予算について（住民税均等割のみ課税世帯への給付・低所得者の子育て世帯への加算）についての説明を求めます。  
**(1) 令和5年度一般会計補正予算について（住民税均等割のみ課税世帯への給付・低所得者の子育て世帯への加算）**  
土橋課長 (別紙資料に基づき説明する。)  
委員長 説明が終わりました。  
質疑ございますでしょうか。  
(なしの声あり)
- 委員長 質疑がないようですので、(1)については報告済みといたします。  
次に、(2)、専決処分について（車両損傷事故に伴う損害賠償額の決定）につきまして説明を求めます。  
**(2) 専決処分について（車両損傷事故に伴う損害賠償額の決定）**  
運上課長補佐 (別紙資料に基づき説明する。)  
委員長 説明が終わりました。  
質疑ございますでしょうか。  
(なしの声あり)
- 委員長 質疑がないようですので、(2)につきましては報告済みとさせていただきます。  
それでは、(3)、第3次健康たきかわ21アクションプラン（案）についての説明を求めます。  
**(3) 第3次健康たきかわ21アクションプラン（案）について**  
運上課長補佐 (別紙資料に基づき説明する。)  
委員長 説明が終わりました。  
質疑ございますでしょうか。  
堀 1つ質疑いたします。  
この中に温泉の効果を考えての取組がないわけですが、そういうのは課題にはなっていませんでしたか。
- 運上課長補佐 温泉に対しての取組につきましては市民アンケートの中に盛り込んでおられませんので、市民の声をその件に限って伺うということにはなかったこともありますが、特に温泉に限った取組はいたしておりません。運動だとか心の面とかで温泉もとても効果があると考えておりますが、今の運動だとか心の取組というのは何をやらいいとかということに特化することではなくて、それぞれが自分の生活に合った、自分に合う取組を取り入れていただけるような働きかけ

といたしますか、一緒にお話をしながらそのようなことを見つけていくといたしますか、個別性のある取組になっていくと思っておりますので、もし温泉の効果などを聞かれましたり、温泉を取り入れたいというご相談があった場合には、その旨をその方に合うような状態でご説明したりだとかお勧めしたりだとかということはもちろんしていくことになると思っております。

堀

一般質問でもしましたけれども、高齢者の方がだんだん増えてきまして車がなくなる人が増えると思っております。温泉というのは健康増進に対して証明されている効果がありますので、お金が結局かかる、バスがない、ハイヤーで行くといったらお金がかかるものですから、そういう要望というのは結構あるのです。それに応えていくということをはかの自治体でもやっていますので、参考事例なんかを調べてお金のかからないような仕組みをつくりながら、バス料金をいただきながら独自にやっている地方の市町村が多いですので、まねをするなり試算なりして経費がかからないような形の効率を考えて検討してもらいたいと思っております。どうでしょうか。

横山部長

今健康たきかわ21の関係の説明をさせていただきました。ここにはいろんな事業が書かされているのですけれども、必ずしもこれが全てということではございません。この後説明します介護福祉課の高齢者の計画ですとか、それから保健福祉部の所管していない様々な企画といたしますか、施策があるということでございます。その部分については具体的には記載してございませんけれども、今堀委員がおっしゃられたような部分につきましても保健福祉部内のほかの課ですとか市役所内のほかの部課、こういったところでいろいろ相談をさせていただきたいというふうには考えます。

荒 木

参考までに伺います。

滝川市の特徴的健康に関する課題というところでこのとおりなのだろうと思うのですが、例えば健診受診率が低いとか1人当たりの医療費がほかの同規模自治体より高いというのは、これは一覧になっているというか、比較は簡単にできると思うのですけれども、メタボリックだとか、高血圧が多いとか、飲酒、喫煙が比較的多いとかというのは何かあるのですか、比較データというか、要するにエビデンスというか。もしあれば教えてください。

運上課長補佐

今のご質疑にお答えします。

メタボリック症候群の方が多いだとか血圧の有所見率が高いというのはデータがありまして、血圧値が、例えば高血圧1度、2度、3度というふうに基準があります。特定健診の受診率からということになります。それ以上である方の割合というのを滝川市も出してございまして、国、道、同規模市と比較しております。データ的にはこちらの案の冊子のほうの10ページの下段に例えば高血圧については書いてございまして、特定健診の有所見率というところで収縮期血圧130以上ということで全国、北海道、滝川市と比較したデータが載っております。メタボリック症候群につきましても、腹囲が基準より高い方のメタボリックに該当する項目がある方についてどれくらいの方がいらっしゃるかという割合をそれぞれ出してございまして、国、道と比較した結果の分析になっております。

高 橋

こちらの案の38ページにある健康づくりのための生活習慣の中の歯と口腔の健康、こちらに子供の不正咬合の増加と書いてあるのですけれども、こちらもきつと増加しているというのがデータとしてあると思うのですけれども、それが

どこに書いてあるかというのと、私の子供もつい数日前に歯医者で不正咬合があるから歯を矯正するのをお勧めすると言われてしまって、矯正の情報とか、そういうことも市民に伝えていけたらいいのかなというのもあるのですが、そういう話は出ていましたでしょうか。

運上課長補佐

お子さんの不正咬合の増加というところでは、データの的には前のページの37ページ、歯と口腔の健康のところの欄、下から3行目、3歳児の不正咬合、前突だとか、過蓋といまして上の歯が下顎よりも出ているような状態などについてが増加しているということで3歳児歯科検診の結果として載せております。これが過去のデータと比べまして現在の令和4年度値では増加しているという状況が、滝川市のデータの経年比較によりますけれども、そういうデータになっております。これについては、主に健康づくり課で関わるのは乳児から3歳児健診、3歳半までということになりますけれども、それぐらいの年齢のお子さんの不正咬合の原因というのは、まずかむということをきちんとできていなくて軟らかいものばかりを飲み込むような形になっている食習慣であったりとか、また体を動かす機会が少なかったりすることで全身の筋力はもちろんですが、お口の周りの筋力の低下なども年々見られているのではないかと思います。こういうことについては歯科衛生士が口唇力の筋力の測定というのもお子さん、歯の行事や幼稚園などで一部ですけれども、させていただいております。これからもやっていきたいと思っているのですが、そのようなデータからも少しお口の周りの筋力が弱っていることが見受けられます。これは新型コロナの流行によって余計おうちの中で過ごすことも多くなって体を動かす機会が減ったりということも影響しているのではないかと、また体を動かす機会が減ったり、うちの中でどうしても退屈なものですから、おやつなど、ジュースなどとか、そういう甘くて軟らかいものを食べる機会が増えると、なかなかお食事も進まなくてかむ力が減ってくるというような全部つながっていることも考えられまして、こちらのほうではまだ3歳児程度のお子さんに対してですので、歯科の矯正の治療という話の前に食生活を見直して、しっかり硬めのものをかむ習慣を取り入れましょうとか、体を動かして遊びましょうとか、そのような保健指導をさせていただいているところです。

高 橋

小学生になると矯正というものはとても多くなってくるのですが、不正咬合であったりとか、歯並びであったりとかと、これって大人になったときに生活習慣病のリスクが上がったりということも歯医者さんに言っていたので、ぜひ小学生に対する歯の健康ということも盛り込んでいただけたらなと思います。どうでしょうか。

運上課長補佐

小学生につきましても、現在やっていることといたしましたら虫歯予防デーとか、それから小学校への歯科予防教室などで歯科衛生士が学校に入らせていただいたりなどの機会もありますので、今後もいろいろな機会を捉えて小学生になってからの働きかけというのもぜひやっていきたいと思っております。

福 井

資料3と大きい本題の39ページにある生活習慣病発症予防及び重症化予防の右側の異世代交流及び支え合う地域共生社会、孤立しない、させないの部分で、これはいろいろ調べさせていただいたら、ほかの所管でいろいろ取組がなされているかと思うのですが、本アクションプランのほう私も読み込みをしっかりとしていなくて、これは何か独自のものとか、今後やっていく、話し合っていくといったようなものはあるのでしょうか。

運上課長補佐 異世代交流や支え合う地域共生社会についてでございますが、ご説明いたしましたとおり、どここの地域に入っていくとか何か事業をするということは、具体的なものは今のところまだ検討中なのですけれども、第3次アクションプランの一番大きな課題であります生活習慣病の働きかけに対しての考え方として、健康づくりを効果的に持続するために必要な要素として人と人との交流、支え合いだとかが大事なものであるということで考え方のエッセンスとしてここに載せさせていただいています。具体的なことといたしますと、例えば介護予防の關係の百歳体操の現場に出向いてお話をさせていただいたりもしていますが、介護福祉課で行っております様々な事業だとか地域の共同体、支え合いの場だとか、若い世代に関しましてもほかの部署や關係機關のご様子などを聞かせていただきながら、こちらのほうで出向いて何かお話をさせていただいたりだとか、皆様と一緒に何か考えさせていただく機会があればぜひ伺いたいと思っております。もしそのような場面で健康づくりについて働きかけるのに適切な場面だとか機会がございましたら、ご助言いただけたらぜひ検討させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

委員 長 それでは、ほかに質疑ございますでしょうか。  
(なしの声あり)

委員 長 ほかにないようですので、(3)については報告済みとさせていただきます。それでは、(4)、第9期滝川市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(案)についての説明を求めます。

水田課長補佐 (4)第9期滝川市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(案)について  
(別紙資料に基づき説明する。)

委員 長 説明が終わりました。  
質疑ございますでしょうか。

高 橋 資料4ページのアンケート調査結果のところなのですが、主な介護者の年齢のところの20歳未満のヤングケアラー、こちらが0.5パーセントいるということなのですが、ヤングケアラーに関しては行政と連携を取って、老老介護ももちろん問題なのですけれども、この0.5パーセントの人に対してどういうことを行っているのかということもお聞きしたいです。

加地副所長 私のほうからお答えいたしますが、ヤングケアラーの關係、改めて今まだこういう対応をしていますというのではないのですけれども、私どものほうで主に関わるのは高齢者の方で介護が必要な方がいたときに、そこでそのケアにヤングケアラーが関わっているとか、そういうようなところはキャッチできるのですが、今子育て応援課ですとか、教育委員会ですとか、福祉課ですとか、いろんなところで情報を共有し合いながら、ヤングケアラーの方がいて、その方が非常に困難になっているときは、もし介護している方が高齢者であれば介護保険制度で救えるところもありますので、そういうのは各關係部署で連携を密にして対応していきたいと思っております。まだ具体的にこういうことをやっていますということではないのですが、連携を取りながら、そういうヤングケアラーの方たちの取りこぼしはないように対応していきたいと思っております。

福 井 すみません。概要版の6の重点目標の3番目、介護人材の育成と確保についてに関連して、その前の4ページの介護人材確保に与える影響についてのアンケートの下から5番目の介護ロボットやICT導入などの生産性の向上の支援に

ついてなのですけれども、読ませていただいたところ資料の介護人材の育成と確保の部分、64ページに介護事業者向け介護ロボット体験研修会を開催しましたと取組の中でありましたので、このアンケートはその前が出たアンケートなのか、その後が出たアンケートなのか、前であれば例えば事業所の反応とかがさらに興味を持っていただけたのかとか、あと去年12月に柴田議員のほうからも介護ロボットについての一般質問があったと思うのですけれども、その辺併せてどのような事業所の動きがあったのか、分かれば教えていただきたいです。

須藤課長

ただいまの福井委員からのご質疑にお答えをさせていただきたいと思います。まず、アンケートの時期というところでいきますと、案のほうの4ページにアンケート調査ということで事業所アンケート調査というふうに記載をさせていただいておりますけれども、時期については福井委員が今質疑されたように事業所に対してのロボットの体験会の前にアンケートをやっているものです。それを捉えて、たまたま北海道事業がありましたので、参加をさせていただく形で滝川市内の介護事業所に案内をさせていただいてロボットの体験会なるものを実施したところですが。大規模な事業者の方たちはこういったロボットの体験というのはされているのですけれども、小規模の事業者の方についてはなかなかそういう場がないというお声もありましたので、今回滝川市のほうでも呼びかけて来ていただきました。実際金銭的な問題、財源的な問題もあるので、なかなか手は出せないという意見が多い中でも今回体験をした中では事業所で新たに導入してみようかだとか、もう既に導入すべくそういったロボットを扱っている事業者にお声かけをしているという実態も把握しているところでございます。今後第9期に向けても、令和6年度以降になりますけれども、ロボット体験会なるものについては引き続き介護人材の確保、介護職員の負担軽減という意味で継続はしていきたいというふうに思っております。

寄 谷

2点伺いたいと思います。

1つ目は、概要版5ページ目の中段から下の高齢者保健福祉計画の概要のところなのですが、2番目の地域生活支援体制の整備の④で地域における支え合いの推進というところなのですけれども、今後単身の高齢者が増えていくという中で考えていくと、地域でも若い人は減ってくると思いますので、そういう意味では地域の高齢者の方が同じ高齢者を支えるという、そういう老老介護の家庭版から地域版に広くなるということを想定されているのか、あるいは地域に今後外国人労働者なんかを多く受け入れて、そういう人に手伝ってもらおうというふうに考えているのか、具体的にどのような支え合いを考えているのか伺いたいというのが1点です。

それと、もう一点目は、6ページ目の介護保険料のところでは今後保険料の段階、9段階を13段階にするということで財源を確保しようということなのですけれども、各段階に占める人口比率、これが今後変わっていくのかどうなのか、その辺の資料というのがあれば調べたいのですが、あるのかどうか教えていただきたいと思います。

加地副所長

私のほうから地域の支え合いについての回答をさせていただきます。

今地域については、高齢者が住み慣れた地域でという地域包括ケアシステムの推進に向けて生活支援体制整備事業ということで各地域の支え合いを推進していく活動をしております。滝川市の場合は市内の小学校区プラス東滝川の7地

区をカテゴリーにしてそれぞれの地域の方たちと話し合いをしながらそれぞれの地域の要望やニーズに合った形ということで今少しずつ進めて、生活支援コーディネーターを中心に地域の方たちと話をしながら進めているところです。ですので、こういう形で全部いきますというような決まった形というのにはならないのですが、今考えていますのは、それぞれ皆さんと話をしていく中で高齢者の方でもお元気な方だったり、こういう活動なら自分はやってみたいという方がいます。それから、國學院短大ですとか、高等看護学院なんかもそうですし、高校生の方とかもそうなのですが、今核家族世帯で高齢者とのつながりが少なくなっているのもあり、若い方たちがこういう活動だったらできるときならやってみたいというような方たちもいますので、今そういう若い方たちと地域の高齢者の集まりとかをつなげるような動きなんかも國學院短大や高等看護学院の協力も得ながら進めています。ですので、まず生活支援コーディネーターが中心になってそれぞれ地域の方たちとお話をしていた中で、高齢者や若い方も含め、その地域の方がこういうことが自分ではできるところとこういうのがあったらいいというのを少しずつマッチングをしながら、できるだけ負担がない形で、その方たちが活躍できるというか、自分がこれならできるところをつなぎ合わせて、例えば通いの場であったり、支え合いだったり、そういう地域づくりを、難しくはあるのですが、進めていきたいと考えております。なので、こういう方向でこういきますとはっきりご説明できないのですが、各地域ごとで少しずつ進めていっておりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

水田課長補佐

介護保険料の関係です。所得の段階が今後どうなっていくのかというものは、それぞれ個人の所得や収入によって変わってきますので、これがどういう形になるかは説明できませんが、例えば今回介護保険料の段階が変わることによって介護保険料の段階が上がる割合は保険料を負担する人の中で全体の2.5パーセントが上がります。10段階から11、12、13の段階の人は、前回と比べて段階が変わらなければ保険料は上がるという形になります。

委員長

ほかに質疑ございますでしょうか。

(なしの声あり)

委員長

質疑がないようですので、(4)については報告済みとさせていただきます。次に、(5)、第7期滝川市障がい福祉計画(案)についての説明を求めます。

#### (5) 第7期滝川市障がい福祉計画(案)について

林課長補佐

(別紙資料に基づき説明する。)

委員長

説明が終わりました。

質疑ございますでしょうか。

高 橋

案の14ページの計画相談支援、障がい児相談支援とあるのですが、日常の一般相談への対応も行いますとあるのですが、こちらの概要を見た限りですと障がいのある方とか手帳を所持する方が増えてきていると、そういうふうになっているので、その分だけ支える家族も増えていると思うのです。もちろんこちらの案に書いてあるように、一般相談への対応も行いますとあるのですが、家族が集まる機会ですとか、支える人の心理的負担を減らすようなものとか、あとそれから障がい児ですときょうだい児というものも存在しているので、それだけ障がいのある方が多くなってくるときょうだい児の数も圧倒的に多くなってくると思うのです。そちらへの援助というか、心理的負担の軽減

- 林課長補佐 のための活動などしていただけないかということをお伺いしたいです。  
今高橋委員がおっしゃられたとおりであると思います。相談、支援に関しましては、当然障がいのある方ご本人の相談ということもございますし、その方に対して適切なサービスにつなげてご家族の負担を軽くすることもそういった相談の中で適宜提供させていただいている状況はありますので、今後ご本人に対して最適なサービスを提供することとご家族の負担が軽減につながるような相談体制となるように当市窓口としましても取り組んでまいりたいというふうに考えております。
- 委員 長 それでは、ほかにございますでしょうか。  
(なしの声あり)
- 委員 長 ないようですので、(5)については報告済みといたします。  
ここで所管及び報道各社は退室願います。
- 委員 長 **2 その他について**  
2、その他についてですが、委員の皆さんから何かありますでしょうか。  
(なしの声あり)
- 委員 長 事務局からは何かありますでしょうか。  
(なしの声あり)
- 委員 長 **3 次回委員会の日程について**  
3、次回委員会の日程についてですが、2月19日月曜日午前11時から第二・第三委員会室で行いますので、よろしく願いいたします。  
以上で、第8回厚生常任委員会を閉会いたします。  
閉 会 10:55

令和6年1月30日

滝川市議会議長 山本正信様

滝川市長 前田康吉

厚生常任委員会への説明員の出席について

令和6年1月22日付け滝議第138号にて通知のありました第8回厚生常任委員会への説明員の出席要求について、次の者を説明員として出席させますのでよろしくお願いいたします。

なお、公務等の都合により出席を予定している説明員が欠席する場合がありますので申し添えます。この場合、必要があるときは、所管の担当者を出席させますのでよろしくお願いいたします。

記

滝川市長の委任を受けた者

保健福祉部長	横山浩丈
保健福祉部福祉課長	土橋祐二
保健福祉部福祉課長補佐	林裕樹
保健福祉部子育て応援課長	田上智章
保健福祉部子育て応援課長補佐	井谷永里子
保健福祉部子育て応援課係長	伊藤崇
保健福祉部介護福祉課長	須藤公夫
保健福祉部介護福祉課長補佐	加藤和久
保健福祉部介護福祉課長補佐	水田辰夫
保健福祉部介護福祉課係長	大川聖和
保健福祉部介護福祉課係長	村井八恵子
保健福祉部介護福祉課係長	大崎直樹
保健福祉部介護福祉課係長	庄野憲宗
保健福祉部介護福祉課地域包括支援センター副所長	加地美賀子
保健福祉部介護福祉課地域包括支援センター係長	石原利香子
保健福祉部健康づくり課長補佐	運上明子

(総務部総務課法制文書係)

## 第8回 厚生常任委員会

日 時 令和6年2月2日(金)  
午前10時00分  
場 所 第二・第三委員会室

○ 開 会

○ 委員長挨拶（委員動静）

### 1 所管からの報告事項について（◎印は議案関連）

《保健福祉部》

- ◎（1） 令和5年度一般会計補正予算について（住民税均等割のみ課税世帯への給付・低所得者の子育て世帯への加算）（資料） 福祉課  
子育て応援課
- ◎（2） 専決処分について（車両損傷事故に伴う損害賠償額の決定）（資料） 健康づくり課
- （3） 第3次健康たきかわ21アクションプラン（案）について（資料） 健康づくり課
- （4） 第9期滝川市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（案）について（資料） 介護福祉課
- （5） 第7期滝川市障がい福祉計画（案）について（資料） 福祉課

（終了後、所管及び報道各社の退室）

### 2 その他について

### 3 次回委員会の日程について

日 時 2月19日（月）午前11時00分  
場 所 第二・第三委員会室

○ 閉 会